

薩摩川内 **市議会だより**

発行 薩摩川内市議会
 編集 議会だより編集委員会

〒895-8650 鹿児島県薩摩川内市神田町3番22号
 TEL 0996-23-5111(代表) FAX 0996-23-5015
 ホームページ <http://www.city.satsumasendai.kagoshima.jp>



蘭牟田池は薩摩川内市の東に位置し、ラムサール条約に登録されており、その周辺には、国内希少動物であるベッコウトンボが生息しています。
 (環境省のレッドデータブックでは絶滅危惧1類に指定されており、トンボ類で唯一、捕獲が禁止されています。)

※8月までの日曜日は、川内駅から無料シャトルバスが運行しています。

【出発時間】	
川内駅発	蘭牟田池発
9:20	10:20
11:20	12:20
13:20	14:20
15:20	17:00

【運行コース】
川内駅 ↓ 遊湯館 ↓ 入来日ノ丸交差点 ↓ 竜仙館 ↓ 蘭牟田池



平成19年第1回定例会

(平成19年2月27日～3月27日)

平成19年度一般会計予算等71議案を可決・同意

- 一般質問18名登壇・・・・・・・・・・P2～P7
- 各常任委員会報告・・・・・・・・・・P7～P13
- 議案等の審議結果・・・・・・・・・・P13～P15
- 陳情の処理状況・意見書・議会のうごき・・P16

一般質問

① 川添 公貴 議員 (創政会)

- 1 今後の支所の在り方について
- 2 副市長制の導入に伴う政策集团的組織の構築について
- 3 東郷小学校の災害復旧の今後の見通しについて

② 福田 俊一郎 議員 (薩摩川内会)

- 1 市長職就任から10年を経過して(川内市長から薩摩川内市長を通じて)の所感と平成19年度予算案について
- 2 当初予算案の「都市力創出プロジェクト」に係る事業
- 3 入来城山ゴルフ倶楽部の状況

③ 瀬尾 和敬 議員 (青雲会)

- 1 市長のマニフェストの進捗状況及び今後の課題について
- 2 小規模校の存続について

④ 鷺山 和平 議員 (むつみ会)

- 1 甌島における医療のあり方について
- 2 地域振興について

⑤ 江口 是彦 議員 (青雲会)

- 1 串木野航路存続を強く願う甌島島民の立場から、甌航路の諸問題について
- 2 「甌島における医療体制のあり方」指針について

⑥ 福元 光一 議員 (むつみ会)

- 1 18年度企業誘致の経過また将来川内港を中心とした企業誘致について
- 2 農業振興ビジョン策定について

⑦ 森永 靖子 議員 (薩摩川内会)

- 1 宝の島 甌島を観光と併せて健康と食についてどの様にお考えですか。
- 2 19年度の女性団体の運営、活動がスムーズに行くための基本的な考え方について

⑧ 中島 由美子 議員 (公明党)

- 1 基本健康診査申込表の回収について
- 2 次世代育成支援について
- 3 学校の問題について

⑨ 大田黒 博 議員 (新生会)

- 1 教育再生会議の第1次報告に対する市教育委員会としての受け止めと対応について

⑩ 江畑 芳幸 議員 (市民クラブ)

- 1 地区コミュニティ協議会活動と自治会活動への行政の支援について
- 2 組織・機構の見直しについて
- 3 消防組織の展望

⑪ 高橋 修二 議員 (友和会)

- 1 大村高校跡地の利活用について
- 2 畜産振興について

⑫ 木原 秀治 議員 (薩摩川内会)

- 1 川内駅東口へのアクセスについて

⑬ 永山 伸一 議員 (新生会)

- 1 少子・高齢化社会への対応策について
- 2 市民サポーター制度について
- 3 生涯学習の推進について

⑭ 井上 勝博 議員 (日本共産党)

- 1 市民の多重債務問題に自治体として積極的な取組を
- 2 70歳未満の者の入院に係る高額療養費の現物給付について、「悪質な滞納者」以外は認定証の交付を

⑮ 種田 弘二郎 議員 (新生会)

- 1 スポーツ少年団の市体育施設使用に係る使用料の減額措置について
- 2 スーパー、コンビニ等での買物袋の配布について

⑯ 上野 一誠 議員 (友和会)

- 1 年度内予算執行と人的配置について
- 2 水道局の一極集中管理体制に伴っての現状と課題について
- 3 福祉政策(民生委員・児童委員の改選)について

⑰ 佃 昌樹 議員 (市民クラブ)

- 1 教育委員会制度の在り方について
- 2 学校外部評価制度について
- 3 特別支援教育支援員配置について
- 4 学校給食費の値上げについて

⑱ 今塩屋 裕一 議員 (薩摩川内会)

- 1 耐震補助制度の導入について

◎以降に主な質問の内容を紹介しますが、紙面の都合上、質問項目のうち議員が希望した1項目を掲載してあります。

詳しくは会議録をご覧ください。なお、議員名の後段の()内は所属会派の名称です。

東郷小学校の災害復旧の今後の見通しについて



川添 公貴

質問 鹿児島県北部豪雨で被災した東郷小学校の校庭の裏山が崩壊し、大変危険な状態である。崩壊以来七カ月たった今でも、いまだに改善される様子がない。そこで、現在の状況及び今後の見通しはどうなっているのか。また、児童の安全を図るには夏休みまでに完了すべきと考えるがどうか。



東郷小学校

答弁 東郷小学校の災害箇所については、山腹崩壊後すぐに県と連絡を取り現地調査を行うとともに、崩土の搬出と防護さくを設置した

ところであり、崩壊現場が民有地であることから地権者の理解を得ながら作業を進めている状況である。今後は、県営の治山事業として防災工事をするということの確約をいただいているので、新年度に入ったらできるだけ早く着工し、夏休み期間中までには工事が終わるように、再度県にお願いして参りたい。

入来城山ゴルフ倶楽部について



福田 俊一郎

質問 東証一部上場のPGGIHグループに譲渡された。従業員の雇用確保やその名称を残すことなどを心配していたが、円滑に運営が継承された。約二十九万坪の市有地の貸付料、運用方法、評価額を示されるとともに、ゴルフ場利用者への地元宿泊への誘致、あるいは地元食材が同社によって全国的に販路拡大されるよう図りたい。

答弁 貸付料及び運用方法は、合併後に算定基準を統一したところ、増額となることから五年間、平成十九年から二十三年度で段階的に引き上げることとしており、最終年

度の平成二十三年度には本来額の約二千二十万円となる。評価額は一坪当たり約千四百円であり、計約四億円である。それから、ゴルフ場の利用関係については、パックツアーの開催等を社長に要望した。今後、御提案を踏まえ、折に触れて話し合いをし、薩摩川内市から情報発信をしたい。

森市長のマニフェストの進捗状況と課題について



瀬尾 和敬

質問 「がんばる地方」として、安倍総理と懇談されるなど、薩摩川内市の行政改革を日本中にPRしてもらった。マニフェストも、概ね達成されていると思われるが、どのように自己評価するか。また、急激な改革推進に当惑する市民も多い。マニフェストの完結には、市民と同じ視線で、会話を重視すべきと思うが、どうか。

答弁 マニフェストについては、市長就任の際に五視点九分野四十項目にわたる政策綱領をつくり、本市の総合計画等とリンクさせながら諸施策を展開しているが、全体的な評価としては、中の上くら

いではないだろうかと思っている。合併後の急激な改革への戸惑いがあることも承知しているが、市民の皆様とひざを交えて声を聞くことについて、この新年度からどういう形で意見を聞く機会ができるか検討したい。

里診療所の存続について



鷺山 和平

質問 「甕島における医療体制のあり方」指針で上甕島における中期的な再編等のあり方として、里・上甕島の医科について、当面患者数の動向や診療所の運営及び経営状況を見ながら再編等の検討を行うとあるが、里診療所については、患者数、経営状況等を勘案すると、現状のまま存続するべきではないか。

答弁 里診療所の存続については、指針案の中で誤解を招くような表現があり、甕島の市民の皆さん方に大変不安を与えたことを、市長から深くおわびを申し上げたい。里町の医科診療所については、従来どおり維持していく。また、早速、指針案についても修正したので、御理解いただきたい。

串木野航路の維持存続を願う 甕島民の立場から、甕航路の諸問題について



江口 是彦

質問 「川内港直航方式」構想についてであるが、川内港は生活航路としては、気象条件など多くの課題を抱える港だと思われる。安心・安全な航路運航を前提に、甕島民の願い、意向が最優先されるべきである。航路の変更により、甕島民に新たな負担と不便を強いることのないようにしてもらいたい。

答弁 直航方式についてはいろいろと新聞報道もなされて混乱していることは、誠に遺憾であると思っている。甕航路を串木野港からなくすということは、最初から考えていない。ただ、串木野港から出た船が、いろんな諸条件が整えば川内港にも寄ってほしいというのは、これは合併したときからの願望である。経費等を考えたときに川内港から出た場合にどうなるか、一つの検討材料として研究させている。甕島航路は生活航路として欠くことのできない重要な航路であるので、この航路問題につ

いては、甕島の市民の皆さんの御意見を聞きながら検討して参りたい。

農業振興ビジョン策定について



福元 光一

質問 国が導入する品目横断的経営安定対策は個人の小規模農家は対象外であるので、個人農家が、また他業種からの新規参入者が少しでも安定した収入が得られるよう、これから策定される農業振興ビジョンの中にバイオ燃料米の試験栽培について、市、JA、農業改良普及センター、民間企業等と協力して取り組んではどうか。

答弁 休耕田をもう一度みんなで耕して生産された米を一カ所に集荷して、バイオマスのエネルギーをつくれれば所得向上につながるのではないかと御提言は理にかなった構想である。このことについて、先進地である東北地方を十分調査し、平成十九年度策定予定の本市農業振興ビジョンに位置付けられるか検討して参りたい。

宝の島・甕島を観光と併せて健康と食について



森永 靖子

質問 甕島は美しい島、宝の島と題してもっとアピールするため甕島を訪れる観光客に地場産の食材を利用して郷土食を提供する必要がある。安全でおいしく体にもよい郷土食を、甕島ならではの新鮮な魚料理を、定番とする料理を、栄養士会、漁協組合、行政関係でお互いに知恵を出し合って掘り起こしたり、生み出すべきである。

答弁 甕島の食と観光については、本市の発展のための重要な施策の一つであり、おもてなしの心を持ちながら、地域で獲れた食材を使って、ここでないければ食べられないような料理を出すことが肝心だと思う。そのためには、食生活改善グループ、管理栄養士、宿泊施設の経営者等が一緒になって協議をし、料理の献立等を作っていたとき、また、料理のコンクールを開催するなど、観光協会等と連携をとっていく必要がある。

マタニティマーク普及について



中島 由美子

質問 マタニティマークは、妊娠初期の妊婦さんに対し、周囲で気遣いましょうというマークである。そこで、車の後ろに付けるステッカー型のマークを普及すれば、妊婦さんということで周りのドライバーが気を付けると思う。また、障害者用の駐車スペースにもそのマークを付けた車が駐車できるように広報すべきと思うがどうか。



マタニティマーク

答弁 赤ちゃんを産もうとしておられる女性の方に、いろいろ協力すべきではないかという御意見であり、全く同感である。例えばマタニティマークのシールを、買い

物袋等に貼ってもらったりキーホルダーの活用等研究して参りたい。また、ポスターや広報紙で、市民の皆様へ周知していくこと等についても検討して参りたい。

教育再生会議の第一次報告 に対する市教育委員会とし ての受け止めと対応につい て



大田黒 博

質問 報告発表後、市教育委員五名で議論されたと思うが、どのような内容だったか。それを踏まえて当面どう対応するのか。県教育委員会を参考にして旧町村地域で委員会の開催を検討する考えはないか。今回の報告は県市町村すべての教育委員会に大きな反省と今後への示唆を与えたと思うが、委員長の具体的明解な答弁を求める。

答弁 今後、文部科学省は、再生会議の第一次報告や教育委員会改革案等を受け、中央教育審議会への諮問・答申を経て、教育関連法案の作成をする方針であるので、これから方針や内容が明確に示されていくと思われる。このようなことから本市教育委員会では、報告については、話題にはしている

が、現在のところ、具体的に議論や検討は行っていない。当面教育委員会の責務を果たしながら、再生会議から出される報告等の内容について、関心を持って見守っていききたい。また、各地域での教育委員会の開催については考えていないが、教育を語る会を実施し、保護者や地域の意見、要望等を聞いたりする機会としているので、この会が充実したものとなるよう検討はしてみたい。

中央消防署新庁舎について



江畑 芳幸

質問 今議会で示された中央消防署新庁舎予定地の選定と消防組織広域化の問題は関連性はあるのか。また、新庁舎の構想として、防火・防災に関する市民とふれあえる施設の整備が必要ではないか。例えば、今、テレビ等でも盛んに紹介されている煙の体験施設や消火の体験施設等の訓練施設を含めたものを考えてほしい。

答弁 新庁舎の選定と消防組織広域化の問題は連動していない。新庁舎の位置は大雨が降った場合を考えてのことであり、広域化につ

いては慎重でなければならないと考えている。また、煙体験等の施設は自主防災組織や子どもたちの研修施設として、必要なものと考えており、今後十分に詰めていきたい。



中央消防署新庁舎予定地（中郷町）

大村高校跡地の利活用について



高橋 修二

質問 福祉関連施設誘致のための大村高校の跡地利用について、地元住民は以前にも何回か計画がとんざしており、今度こそと期待していただけに、契約解除になった

ことで大変失望した。契約解除に至った原因は何であったか。また、今回は福祉関連施設として県内外に広く公募するのか。スケジュール的にはどうなるのか。

答弁 慎重に手続きをし資格審査等を行いながら契約締結を行ったが、まだいろいろな角度から調査し決定すべきであったと深く反省している。もう二度目だと聞いているので、今回の件を踏まえ、できればすぐに状況が調査できる県内で福祉関連事業として公募して参りたい。今後、入札、仮契約を七月上旬に行い、議案を九月議会に提案したい。

薩摩川内駅東口へのアクセスについて



木原 秀治

質問 川内駅周辺地区土地画整理事業が平成十九年度で大枠が終了するが、駅東口へのバス乗入れが不便なので、東口が駅の裏口となるのでは。平成通線を延長し都市計画道路隈之城高城線へ接続を。都市計画道路平佐加治屋馬場線の平佐麓地区の新設部分は。県道川内祁答院線及び都市計画道路横馬

場田崎線の道路計画は。



川内駅東口

答弁 区画整理事業は平成十九年度で、概ねの造成を終える予定で、あと一年は東口駅前広場等の付帯設備等を整備したい。東口への道路整備については、まず、第一に横馬場田崎線を九州新幹線全線開通に併せ、九州新幹線交差部の区間二百六十メートルの整備を急ぎたい。平成通線・平佐加治屋馬場線の延伸については、沿線住民の意向等地域の実情及び他の事業の進捗状況を踏まえ、財政面も考慮しながら、整備手法について検討したい。県道川内祁答院線については引き続き整備の要望を行う。東郷地域・樋脇地域方面からの川内駅東口へのアクセスは、県道山崎川内線から平佐加治屋馬場線を通して平成通線に誘導したい。

少子・高齢化社会への対応策について



永山 伸一

質問 本市の定住人口の増加、人口減少に歯止めをかけるには、乳幼児医療費助成のさらなる拡充、保育所の待機児童対策、無認可保育所への支援、幼児教育の充実を図るための幼保一元化など安心して子どもを産み育てられる環境整備への施策展開が必要と考えるが、現状と今後の取組は。

答弁 乳幼児医療の助成事業は平成十九年度から三歳未満児の自己負担分を全額助成することとし、今後は実績や財政等を勘案し対処したい。保育所の待機児童対策は、通常保育事業で現在の千七百三十人枠を二十一年度までに千八百五十枠とする目標計画を立てている。無認可保育園については、設置基準を確認し、基準を満たすものであれば、県へ認可申請の意見書を提出したい。幼保一元化については、認定子ども園の事業がスタートしたところであり、それらに取り組み幼稚園、保育園には支援をしなければならぬと考えており、新しい施策等についても色々な角

度から検討をさらに進めて行く。

多重債務者が気軽に相談できる窓口強化を



井上 勝博

質問 多重債務の背景に貧困と格差の問題がある。奄美市は多重債務者が気軽に相談できる窓口を設けて、弁護士や司法書士会との連携を強め、多重債務者の生活再建、自立まで援助している。薩摩川内市でも奄美市に学んで多重債務者の救出に積極的に取り組む気はないか。

答弁 本市においても、奄美市も参考にしながら、多重債務者に対する相談業務をしつかりやっていかなければならない。弁護士等と十分連携をとるとともに、積極的に相談が受けられるよう職員の資質向上を図って参りたい。

スポーツ少年団の体育施設に係る使用料の減額措置について



種田 弘二郎

質問 青少年育成におけるスポーツ少年団の役割は大きく、本市総合計画にも記載されている。しかし、スポーツ少年団が活動する中で市の体育施設の使用料の負担が相当額にのぼっている。薩摩川内市体育施設条例施行規則第八条第一項第四号の規定により減額してスポーツ少年団等育成の一助とする考えはないか。

答弁 昨年の十二月に使用料・手数料について見直しを行ったところであり、スポーツ少年団についても受益者の負担原則に基づき施設使用料を払っていただいている。よって、減免規定もあるが、簡単に使うことはできないので、具体的にどういう場合に、減額、免除ができるか、平成十九年度で研究して、できるだけ早い機会に結論を出したい。

福祉施策（民生委員・児童委員の改選）について



上野 一誠

質問 民生委員・児童委員の方々には、社会奉仕の精神をもって、常に住民の立場に立って相談に応

じ必要な援助を行い、社会福祉の増進に御尽力いただいていることに感謝と敬意を表したい。今年改選年度であり、百七十世帯に一人の配置基準であるが、委員活動に支障ないよう、連合会等の御意見も尊重し市の方向性を示されたい。

答弁 国の示す配置基準では百七十世帯から三百六十世帯の間のいずれかの数字をとり世帯ごとに民生委員・児童委員一人を置くとして示されている。今回、その数字を百七十世帯として計算した場合、市内市で四十四名の増員と、旧四町四村で四十二名の減員が必要となる。おっしゃるとおり世帯の密度により、地域間により格差があるので、連合会でも協議をしていただき適切な配置をしていくよう事務を進めて参りたい。

学校外部評価制度について



佃 昌樹

質問 学校外部評価制度を導入する根拠と分析結果を伺いたい。評価委員会の構成・評価内容・資料提供・評価の公表については。子どもの学力評価・教職員評価と外

部評価との関係は。個人情報保護への配慮については。教育委員の学校担当制への検討はできないか。

答弁 外部評価制度の導入は、文部科学省が学校運営の改善に向け、望ましいとしている。これまでの評価では十分でなかったため、平成十九年度から試行する。委員会の構成は各中学校区ごとに地区の代表者等を、評価内容は教育課程や学習指導に関すること等を、資料提供は年度はじめに各学校長から学校経営案等について説明を、評価公表は適切な方法で保護者や地域住民へ公表したいと考えている。よって、子どもの学力評価及び教職員評価とは異なるものと考ええる。個人にかかわる情報は十分検討する必要がある。学校担当制は、すべての教育委員が市の小・中学校を見るのが望ましいと考える。

耐震補助制度の導入について



今塩屋 裕一

質問 耐震補助制度の中で、他県の場合、耐震診断員の派遣や高齢者が居住する住宅への補助金の割増等をし、市民の費用負担を軽減

減しているもので、本市にも取り入れられたい。また、耐震改修を行った場合、住民に係る固定資産税額が国の基準で一定期間半額になる。今後他の助成金にも力を入れ迅速な対応を。

答弁 耐震改修促進法の一部改正により、耐震改修または耐震診断にかかる費用等の国の助成措置や固定資産税の二分の一減額などが措置された。これらの助成制度を受けるためには、耐震改修促進計画の策定が必要である。よって、できるだけ早く市の計画を策定し、県との連携をとりながら市の助成措置について検討して参りたい。

各常任委員会報告

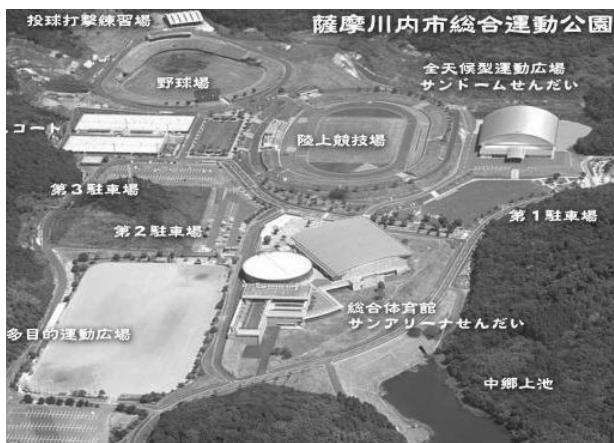
各常任委員会は、それぞれ付託された議案の審査等を行い、主に次のような意見・要望が述べられました。

企画経済委員会

委員長 堀之内 盛良

一月三十一日開催

薩摩川内市観光振興基本構想



⑤薩摩川内市内を観光できるように川内駅に案内板等を設置し、地域

(骨子案)について
①本基本構想を具体化していくための戦術・戦略を検討し、本市のブランドを構築できるような情報発信に努められたい。
②本市の知名度が向上するような施策を検討されたい。
③九州新幹線の全線開通時の本市経済効果も分析し、市民に潤いができるような最終目標を設定されたい。
④本市のスポーツ施設を整備し、スポーツ選手等へ練習場として紹介し、あわせて県内外からの観光客誘致に努められたい。

のPR等されたい。
⑥民間企業とタイアップし、本市の魅力を引き出されたい。

三月十四日・十五日開催

平成十九年度薩摩川内市一般会計予算のうち本委員会付託分について

①本市の定住促進については、団塊の世代等に定住していただくための施策を検討されたい。

②本市の魅力を引き出すため、温泉をモチーフにする等、独自制のある定住促進策を検討されたい。

③課内グループ制の機能を十分發揮させるために、民間企業からの外部講師による教育研修等を行い、職員の意識改革・行動改革を図り、市民サービスの向上に努められたい。

④地区コミュニティ協議会については、地区住民と本市をつなぐ重要な役割を担っていることから、協議会長等に過重な負担がかからないよう配慮されたい。

⑤ふれあい市民会議は市長と市民が直接触れ合う場であるので、事前に出される意見集約の方法を検討され、市民会議当日は要望への回答を行うだけでなく議論を中心とした場となるよう検討されたい。
⑥標準小作料については、農地流動化を推進する上でも重要であるので、採算性を考慮した算定方法

を導入できないか、検討されたい。

⑦新規就農者の支援については、農業者育成を目的としていることから、関係機関等と協議し、より一層の充実を図られたい。

⑧農業公社については、今後、移転が予定される東郷地域にある県の果樹試験場が適地と考えられるので、早い段階で県と協議されたい。

⑨畜産振興については、現在の収益を更に伸ばす施策を検討し、本市のブランドを構築されたい。

⑩甑地域の農業が衰退することのないよう、指導員の確保及び輸送コストの問題について、さつま川内農協と協議されたい。

⑪農業振興ビジョンの策定については、技術連絡協議会等関係機関と協議し、その意見が反映されるようにされたい。

⑫林業の振興については、川内港に木材集荷所を設置し、木材を加工し付加価値をつける等、豊富な森林資源を活かした方策を検討されたい。

⑬農地・水・農村環境保全向上活動支援事業を導入した場合においては、積極的に事業を利用していただけるように、地域住民へ十分周知されたい。

⑭商店街の活性化策については、川内商工会議所の取組も含め、商

店主自らが気概をもって取り組めるような補助金の在り方についても、十分検討されたい。

⑮甑航路については、甑島と川内港間の直航方式を視野に入れ、甑島住民の利便性が向上するよう同住民の意見を聞きながら、十分検討されたい。

⑯提案公募型補助金（川内川鯉のぼり）については、多額の補助金を交付することから、多くの集客を見込めるよう主催者と十分協議されたい。

⑰甑島の観光客誘致策については、体験型宿泊プラン等の方策を検討し、また、インターネット等で甑島の魅力についてインパクトのある情報発信をされたい。

市民福祉委員会

委員長 福田 俊一郎

二月十三日開催

（一）健康さつませんだい二十一

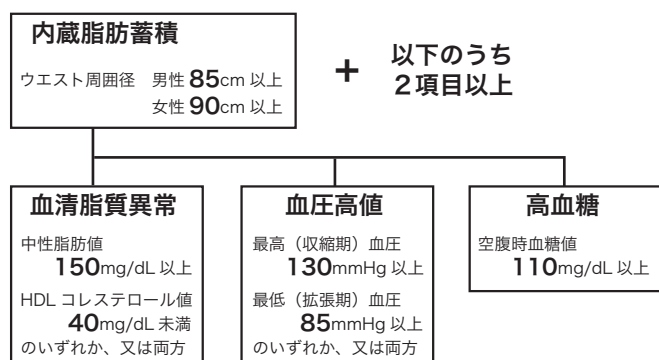
（案）について

①母子保健計画、老人保健福祉計画、介護保険事業計画等が策定されているが、それぞれの計画について関連性を整理し、市民にとってわかりやすいように配慮されたい。

②核家族化や離婚増の影響により、家庭において朝食の欠食や未成年者の喫煙等が増加していることや、地域でのつながりが希薄化してきている現状を認識して、行政として地域や家庭との連携を深めながらしっかりとした地域の再生に努められたい。

③市民の健康づくりを進めるため、県の運動普及推進員や八〇二〇運動推進員の活動を広く活用していくことも検討されたい。

●メタボリックシンドロームの診断基準



（二）薩摩川内市母子保健計画（案）について

①母子保健については、安心して子どもが産め、健やかに育てられ

るような計画づくりとされたい。
 ②妊婦の日常の活動を支援するため、マタニティマークの活用を積極的に進められたい。
 ③甕島地域には産婦人科がないことから、妊婦に安心感を与えるためにも、助産師の定期的な派遣も検討されたい。

三月十六日・十九日開催

(一) 平成十九年度薩摩川内市一般会計予算のうち本委員会付託分について

①市民の多重債務相談については、今後も適切なサービスに努められたい。

②国民健康保険税や介護保険料を改定する際には、一般会計で財政負担している状況などについて、市民の理解が得られるような啓発策等を検討されたい。

③住民基本台帳カードについては、市民の理解を得ながら啓発し、今後もその普及に努められたい。

④汚泥再生処理センターの建設に当たっては、地元住民に十分説明の上、連携協力を求めるなど、慎重に進められたい。

⑤公設ステーションの設置に当たっては、適正な分別がなされるよう適確な指導に努められたい。

⑥犬のふんの放置については、飼い主が責任を持ってふん回収を徹底するよう指導されたい。

⑦食育の指導については、学校給食も関連することから、教育委員会との連携も考慮されたい。

⑧生活保護の申請については、提出書類をなるべく簡略化し、また、生活保護世帯の現状の調査をするなど実態把握に努められたい。

⑨新規認可保育園の開園に当たっては、幼保一元化など、その仕組みについて関係保護者等に十分理解していただくよう取り組まれたい。

⑩高齢者に係る様々な制度については、市民に対し、わかりやすい説明や啓発に努められたい。

⑪西方地区からは、市街地までのバス料金が高いことから、診療所の開所日数を減らすに当たっては、福祉バスの導入を検討されたい。

(二) 平成十九年度薩摩川内市国民健康保険事業特別会計予算について

①生活習慣改善プログラム推進事業については、市民や国民健康保険の医療費抑制にもつながることから、今後も継続されたい。

(三) 平成十九年度薩摩川内市介護保険事業特別会計予算については、
 ①療養病床再編問題については、市民の不安を払拭するため、介護施設等の待機者の解消に努められるよう、市として国・県に強く働きかけられたい。

建設水道委員会

委員長 小村 亮一

三月十四日・十五日開催

(一) 薩摩川内市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について
 ①五代住宅の解体後については、二、三階建ての住宅を建設されたい。

(二) 平成十九年度薩摩川内市一般会計予算のうち本委員会付託分について

①鹿児島県北部豪雨で被災した吉野山ポンプ場の河川護岸の復旧工事は、できるだけ早期に完成できるように県へ強く要請されたい。



吉野山ポンプ場

②住民が生活する上で重要な生活道路等の新設改良は、地域住民の希望でもあるので、重点的に整備するため、予算の確保に努められたい。

たい。

③川内港の臨海道路のアスファルト舗装は単車や軽自動車等の通行時に危険な場合があるので、コンクリート舗装に切り替えられるよう県へ要望されたい。

④合併浄化槽から土地改良区が管理する農業用水路に流すための負担金の問題については、関係課で連絡を密にして十分な対応を図られたい。

⑤市営住宅退去時の畳とふすまの取替えについては、定住促進の観点からも入居期間や使用状況等を勘案し、一定の基準を定めて運用されたい。

⑥市営住宅への火災警報器の設置については、率先して市が設置すべきものである、その方針を明確に示し、平成十九年度予算において補正予算を要求するなどし、年次的に全住宅へ設置されたい。

⑦鹿児島県北部豪雨災害での公共土木災害復旧工事については、国や県の査定等で時間を要したことは理解はできるが、できるだけ早急に復旧されたい。

⑧河川伐採業務委託については、建設業界とも協議し、年間を通じ区域を決めて地元業者に伐採してもらう制度を検討されたい。

⑨南九州西回り自動車道の薩摩川内都インターチェンジが開通し、

市道百次青山線は交通量が大幅に増え交通事故が懸念されるので、早急な改善策を調査・検討されたい。

⑩公共下水道事業、農業集落排水事業及び漁業集落排水事業については、加入率向上のため、更に努力されたい。

(三) 平成十九年度薩摩川内市温泉給湯事業特別会計予算について
①ビルやアパート等の排水設備工事費が高額であり接続が進まない状況であるので、工事費の引下げ等を研究し、引き続き加入率の向上に努められたい。

(四) 平成十九年度薩摩川内市入来温泉場地区土地区画整理事業特別会計予算について

①入来温泉場土地区画整理事業の見直し案については、関係課所及び委託業者と連携を取り合って十分に議論を深められたい。

②温泉施設の整備については、旧職業能力開発校跡地を活用するなどし、できるだけ早く換地先の確保がなされるよう取り組まれない。

(五) 平成十九年度薩摩川内市水道事業会計予算について

①水道局の執行体制の東郷支所への集約化・拠点化に当たっては、指揮命令系統を確立するなど、万全な体制を整えた上で住民への周知も徹底されたい。

総務文教委員会

委員長 大田黒 博

三月十六日・十九日・二十日開催

(一) 薩摩川内市報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

①行政改革推進委員会委員及び補助金等評価委員会委員については、今後、今回の報酬額も含め報酬等審議会で検討されるとともに、提案の在り方についても十分検討されたい。

(二) 薩摩川内市立学校給食センター条例及び薩摩川内市の附属機関に関する条例の一部を改正する条例の制定について

①給食費の値上げに際しては、保護者等の理解が得られるよう十分な説明を行われたい。

(三) 薩摩川内市消防団員の定員、任免、服務等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

①甌島地域における団員及び協力体制の確保等、災害時に対応できる消防団の組織体制を構築されたい。

(四) 平成十九年度薩摩川内市一般会計予算のうち本委員会付託分について

①消防庁舎等建設事業における敷地造成工事については、環境面等、地域住民の要望も十分踏まえた上で進められたい。

②地区コミュニティ協議会等より要望のある防火水槽建設については、補助事業等を活用するなどし、早い時期での建設に努められたい。

③私立高等学校教育振興補助金について、学費助成方式等への切替も含め保護者負担の軽減につながるよう、次年度以降の増額を検討されたい。

④教室棟大規模改修事業については、教育環境面の向上の観点からも、年次的整備が図られるよう予算確保に努められたい。

⑤川内小学校教室棟大規模改修事業について、学校関係者等と十分協議した上で取り組まれたい。

⑥小学校の遊具については、低学年の体育の授業等で利用することから、撤去後は新たな遊具の設置について検討されたい。

⑦児童・生徒のアレルギー症に対する抵抗力を養う観点から、教育課程に土と親しむ学習機会の増加を検討されたい。

⑧いじめ問題等にも関連することから、児童・生徒のブログ開設者数について調査されたい。

⑨快適な学習環境が確保されるよう、夏場における学校の教室の室

温等の状況を調査し、空調設備の予算措置に反映されたい。

⑩永利小学校屋内運動場については、老朽化し経年変化に伴う傷みも多いことから早急に整備されたい。

⑪PTA活動の実施日については、保護者等が参加しやすい曜日や時間設定にも配慮されたい。

⑫児童数が校舎等の在り方にも関係することから、学校の適正規模について、通学区域を含め多方面から検討する組織を設置されたい。

⑬成人式開催事業について、自主運営を含めた事業の在り方を検討されたい。

⑭施設全体が狭隘(きょうあい)であることから、隣接する日本たばこ産業(株)の敷地活用も含めた今後の図書館の在り方について、検討されたい。



寺山陶遊窯

⑮少年自然の家の陶芸窯（穴窯）の利用者増加が図れるよう、老人会・地区コミュニティ協議会等へ利用について周知されたい。

⑯川内川を生かしたスポーツ推進事業（川内川河口マラソンウォーキング大会）等、川内川を利用したイベントを把握し、同時開催等について、関係課と協議し検討されたい。

⑰市民スポーツ課の運営として、市民を対象に幅広く活動を行い、地区コミュニティ協議会の設立趣旨を踏まえ、同協議会体育部会等への支援の在り方について検討されたい。

⑱入札制度改革について、条件付一般競争入札参加資格等、制度の周知を図るとともに、出前講座等を開催し業者の理解を深め、あわせて受注機会の増加を図るなど業者育成に努められたい。

⑲青色回転灯（脱着式）装着車の循環等、防犯に対する抑止効果の向上が見込めることから、薩摩川内地区防犯協会と設立予定である四十八地区コミュニティ協議会連絡会との連携を図られたい。

各特別委員会は、次の項目について審査を行いました。

原子力発電所対策調査 特別委員会

委員長 上野 一誠

一月三十日開催

薩摩川内市国民保護計画における川内原子力発電所に関する事項について審査を行った。

まず、当局から、薩摩川内市国民保護計画の概要や同計画案等について、報告・説明を受け、その後、原子力発電所への武力攻撃時の緊急停止等の対応、原子力災害の規模想定、住民避難と自衛隊活動の優先度、テロ攻撃時の対応、避難誘導等の市長権限、甕島の避難計画等について質疑を行った。

次に、本委員会の運営方針として、これまでの二年間の協議事項を基本とすることはもちろんのこと、明確なテーマを持って調査・研究等を重ね、必要に応じて電気事業者等に出席を要請するなど状況に応じた的確な委員会運営を行い、市議会として市民への説明責任を果たしていくことを確認した。

二月十四日開催

（一）川内原子力発電所一号機・二号機の運転状況について当局か

ら、一号機は三月二十八日に第七回定期検査を終了し、二号機は六月二十日に第十六回定期検査を終了し、それぞれ通常運転に復帰していること、また、気体・液体廃棄物の放出量は年間放出管理目標値を大きく下回り、十二月末現在の固体廃棄物の貯蔵量は一万一千七百三十七本（貯蔵容量の約六十九％）及び使用済燃料の保管量は一千四百九十九体（貯蔵容量の約六十三％）であるとの報告を受け、更に、一号機主変圧器及び所内変圧器取替工事の概要の説明を受け、その後、使用済燃料の搬出計画、搬出がない場合の保管可能年数、使用済燃料の保管方法の安全性、固体放射性廃棄物の搬出計画について質疑を行った。

（二）川内原子力発電所に関連する諸問題について当局から、環境調査の概要及び環境アセスメントの系統の流れ並びに一月末現在の環境調査の進捗状況として、地質調査についてはボーリング本数九十六本が完了するなど進捗率九十二・六％、気象調査については九月二十九日に終了し進捗率百％、環境影響評価については現況調査の実施中で進捗率五十八・五％であること及び雇用状況の報告・説明を受け、その後、地質調査において北西部地震等の過去の震源地

及び出水断層等の断層地帯の調査の有無について質疑を行った。

なお、審査の過程において、耐震指針に関しては過去の事例だけでなく、新しい事例等も調査することなどの申し入れを行い、想定外だったということがないよう行政の声を伝えられたい旨の意見が述べられた。

次に、協議会を開催し、原子力発電所の概要等について、当局から説明を受けた。

交通体整備対策調査 特別委員会

委員長 寺脇 幸一

二月五日開催

（一）川内港の港湾計画及び利用促進について

①川内港の港湾計画について川内・甕航路を見据えた川内港の整備、浮き桟橋の整備、檢疫港の指定、合併後の課題である甕航路に対応する可動橋等の整備が必要であること等について、港湾計画に係る課題として、本市が整備を要望している施設の中には、港湾計画上での位置付けが必要とされる施設があること、港湾計画の改訂の動向と今後の見通しについては、平成十九年度以降川内港港湾

各特別委員会 報告

計画改訂に向けた整備構想、将来予測の検討に入る見通しであること等の報告・説明を受けた。

②川内港の整備等について

これまでの施設整備状況、平成十七年度事業の概要、平成十八年度事業の概要、アクセス道路の県道四十四号京泊大小路線については、一部用地交渉が難航している部分があること等の報告・説明を受けた。

③川内港の利用促進について

十月四日から同月八日にかけて、実施された新鑒真の第四十九回寄港事業の実績、コンテナ貨物の取扱実績等の報告・説明を受けた



新鑒真（川内港）

④甌島航路について

甌島商船株式会社の経営に関する状況等について、報告・説明を受

けた。その後、委員の質疑に入り、可動橋の設置可能な場所、県道四十四号京泊大小路線の用地交渉の進捗状況、県道四十三号川内串木野線の進捗状況、甌島航路についての直航方式及びアンケート調査の実施状況、川内港の利用促進のための企業との情報交換、コンテナ取扱い実績の推移、コンテナの荷さばき地の実態、本市と常熟市の新鑒真を利用した交流の在り方、検疫港の指定へ向けた取組等について質疑を行った。

なお、審査の過程において述べられた意見・要望の概要は、次のとおりである。

①県道四十四号京泊大小路線の一部用地交渉が難航している部分については、原子力発電所の避難道路でもあることから法的措置も視野に入れながら、早期に解決できるよう努力されたい。

②甌島商船株式会社に対し、利用者の増加を図るため、臨時便等を検討されるよう要望されたい。

③川内港の利用を推進するため、アクセス道路を整備するとともに、荷主等との連携を密にするなどされたい。

(二) 南九州西回り自動車道について

当局から、整備状況についての概要、進捗状況と区間の現状、川

内道路開通記念イベントが二月二十五日に開催されること等の報告・説明を受け、川内限之城道路については平成十六年度から平成十八年度までの経緯等、アクセス道については国道三号限之城バイパス・昭和通線・駅前平佐線・(仮称)宮崎バイパスの事業進捗等の報告・説明を受けた。

なお、審査の過程において述べられた意見・要望の概要は、次のとおりである。

①限之城高城線は交通量が多く、地元住民の要望もあることから、県に対し、早期完成を強く要望されたい。

②(仮称)宮崎バイパスについては、周辺道路が朝夕渋滞になることから、早期着工となるよう、より一層県に対し要望されたい。

③南九州西回り自動車道の川内、阿久根間については早期の事業化に向け努力され、地元住民へも現状等の報告をされたい。

(三) 甌島縦貫道について

当局から、甌島縦貫道の整備状況として、一般県道手打蘭牟田港線手打工区(手打、青瀬)の道路改良の概要、主な構造物、平成十八年度の概要、事業進捗、蘭牟田瀬戸架橋の主要経過として、平成十八年三月三十一日に蘭牟田瀬戸架橋建設事業着手が発表されたこ

と、四月二十二日に鹿島町で決起大会が開催されたこと、十月七日に本土での決起大会が開催されたこと、本年一月二十二日に建設計画説明会が実施されたこと、蘭牟田瀬戸架橋の事業進捗として、一般県道黒浜水深線の道路改良の概要、平成十八年度の概要等について報告・説明を受けた。

河川改修対策調査特別委員会

委員長 宮脇 秀隆

二月七日開催

(一) 川内川市街部改修の促進について

当局から、川内川市街部改修の事業進捗について報告を受け、その後、平成十八年度の主要経過として、七月二十日に川内市街部改修促進期成会による川内川河川事務所に対する要望活動を、八月一日に川内川改修促進期成会、川内川下流改修促進期成会、川内川上流河川改修期成同盟会による川内川河川事務所に対する激甚災害の早期指定、河川激甚災害対策特別緊急事業の採択と豪雨災害関係の要望を行ったことの報告・説明を受けた。

次に、天辰地区土地区画整理事

業の主要経過として、川内川の公
共施設管理者負担金については、
平成十八年度末までに概ね九十％
の進捗であること、香田樋門につ
いては平成十八年度までは宅地側
を、平成十九年度は川側を改築す
ることの報告・説明を受けた。

次に、天大橋下流の改修計画に
ついては、川内川河川事務所が測
量や築堤の概略設計及び市道山田
島・五代線の概略設計・主要構造
物の設計が終了していること、ま
た、河川改修事業と一体となった
都市計画道路中郷五代線の延伸計
画の事業概要及び現在の進捗状況
について説明があり、本計画路線
中途にある新幹線、肥薩おれんじ
鉄道及び国道三号の三交差箇所に
ついて、交通量調査結果に基づき、
国道三号部の交差点計画の検討を
行い、関係機関協議の資料等を作
成することの報告・説明を受けた。

(二) 川内川等河川激甚災害対策
特別緊急事業について

当局から、まず激甚災害対策の
事業経過について報告を受け、今
後の計画を箇所に、また、久住
橋の事業状況についての報告・説
明を受け、その後久住橋の復旧に
係る費用、橋梁諸元（橋梁の性能
や強度）、鶴田ダムの放流の在り方
等について質疑を行った。

なお、審査の過程において述べ

られた意見・要望の概要は、次の
とおりである。



久住橋

① 川内川等河川激甚災害対策特別
緊急事業については、環境面にも
配慮したかわづくりといった観点
を持ち、住民が安心して安全な生活
ができるようなまちづくりを進め
られたい。

② 川内川による災害を防ぐため、
テレビカメラの利用等、住民が判
断しやすい情報提供について検討
されたい。

(三) 県管理河川における河川改
修等について当局から、県管理河
川における整備中の河川について
報告・説明を受けた。

平成19年第1回定例会議決結果

企画経済委員会への付託分

議案番号	件名	議決結果
議案第32号	薩摩川内市男女共同参画基本条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第33号	地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	原案可決
議案第34号	薩摩川内市移動通信用鉄塔施設条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第35号	薩摩川内市優良牛導入資金貸付基金条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第36号	薩摩川内市自動車運送事業条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第50号	平成19年度薩摩川内市一般会計予算	原案可決
議案第68号	平成19年度薩摩川内市自動車運送事業会計予算	原案可決

市民福祉委員会への付託分

議案第37号	川内市交通災害共済条例を廃止する条例の制定について	原案可決
議案第38号	薩摩川内市ごみ処理施設条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第39号	薩摩川内市国民健康保険診療施設条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第40号	薩摩川内市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決

議案番号	件名	議決結果
議案第41号	薩摩川内市児童育成施設条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第42号	薩摩川内市乳幼児医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第43号	薩摩川内市敬老金条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第50号	平成19年度薩摩川内市一般会計予算	原案可決
議案第61号	平成19年度薩摩川内市国民健康保険直営診療施設勘定特別会計予算	原案可決
議案第62号	平成19年度薩摩川内市介護サービス事業特別会計予算	原案可決
議案第63号	平成19年度薩摩川内市国民健康保険事業特別会計予算	原案可決
議案第64号	平成19年度薩摩川内市老人保健医療事業特別会計予算	原案可決
議案第65号	平成19年度薩摩川内市介護保険事業特別会計予算	原案可決

建設水道委員会への付託分

議案第44号	薩摩川内市普通公園条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第45号	市道路線の認定について	原案可決
議案第46号	薩摩川内市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第47号	薩摩川内市一般住宅条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第48号	薩摩川内市公衆浴場施設条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第49号	薩摩川内市簡易水道事業及び飲料水供給事業条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第50号	平成19年度薩摩川内市一般会計予算	原案可決
議案第51号	平成19年度薩摩川内市簡易水道事業特別会計予算	原案可決
議案第52号	平成19年度薩摩川内市温泉給湯事業特別会計予算	原案可決
議案第53号	平成19年度薩摩川内市公共下水道事業特別会計予算	原案可決
議案第54号	平成19年度薩摩川内市農業集落排水事業特別会計予算	原案可決
議案第55号	平成19年度薩摩川内市漁業集落排水事業特別会計予算	原案可決
議案第56号	平成19年度薩摩川内市浄化槽事業特別会計予算	原案可決
議案第57号	平成19年度薩摩川内市天辰第一地区土地区画整理事業特別会計予算	原案可決
議案第58号	平成19年度薩摩川内市川内駅周辺地区土地区画整理事業特別会計予算	原案可決
議案第59号	平成19年度薩摩川内市入来温泉場地区土地区画整理事業特別会計予算	原案可決
議案第60号	平成19年度薩摩川内市公共用地先行取得等事業特別会計予算	原案可決
議案第66号	平成19年度薩摩川内市水道事業会計予算	原案可決
議案第67号	平成19年度薩摩川内市工業用水道事業会計予算	原案可決

総務文教委員会への付託分

議案第21号	薩摩川内市報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第22号	薩摩川内市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第23号	鹿児島県市町村総合事務組合の設立に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	原案可決

議案番号	件名	議決結果
議案第24号	薩摩川内市手数料条例等の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第25号	財産の処分について（祁答院町下手19筆）	原案可決
議案第26号	薩摩川内市国民保護対策本部及び薩摩川内市緊急対処事態対策本部条例の制定について	原案可決
議案第27号	薩摩川内市公民館条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第28号	薩摩川内市川内文化ホール条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第29号	薩摩川内市立学校給食センター条例及び薩摩川内市の附属機関に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第30号	薩摩川内市消防団員の定員，任免，服務等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第31号	薩摩川内市消防団員等公務災害補償条例及び薩摩川内市消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例を廃止する条例の制定について	原案可決
議案第50号	平成19年度薩摩川内市一般会計予算	原案可決

本会議審議（委員会への付託省略分）

議案第1号	薩摩川内市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について	原案可決
議案第2号	薩摩川内市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第3号	薩摩川内市議会政務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第4号	薩摩川内市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第5号	薩摩川内市特定公共賃貸住宅条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第6号	平成18年度薩摩川内市一般会計補正予算	原案可決
議案第7号	平成18年度薩摩川内市簡易水道事業特別会計補正予算	原案可決
議案第8号	平成18年度薩摩川内市温泉給湯事業特別会計補正予算	原案可決
議案第9号	平成18年度薩摩川内市公共下水道事業特別会計補正予算	原案可決
議案第10号	平成18年度薩摩川内市農業集落排水事業特別会計補正予算	原案可決
議案第11号	平成18年度薩摩川内市漁業集落排水事業特別会計補正予算	原案可決
議案第12号	平成18年度薩摩川内市浄化槽事業特別会計補正予算	原案可決
議案第13号	平成18年度薩摩川内市天辰第一地区土地区画整理事業特別会計補正予算	原案可決
議案第14号	平成18年度薩摩川内市川内駅周辺地区土地区画整理事業特別会計補正予算	原案可決
議案第15号	平成18年度薩摩川内市入来温泉場地区土地区画整理事業特別会計補正予算	原案可決
議案第16号	平成18年度薩摩川内市国民健康保険直営診療施設勘定特別会計補正予算	原案可決
議案第17号	平成18年度薩摩川内市介護サービス事業特別会計補正予算	原案可決
議案第18号	平成18年度薩摩川内市国民健康保険事業特別会計補正予算	原案可決
議案第19号	平成18年度薩摩川内市老人保健医療事業特別会計補正予算	原案可決
議案第20号	平成18年度薩摩川内市介護保険事業特別会計補正予算	原案可決
議案第69号	平成18年度薩摩川内市一般会計補正予算	原案可決
議案第70号	人権擁護委員候補者の推薦について	同意
議案第71号	平成18年度薩摩川内市一般会計補正予算	原案可決

陳情の処理状況

陳情番号	件名	結果
陳情第1号	医師・看護師等の増員を求める陳情書	採択
陳情第2号	畜産政策・価格に関する陳情書	採択
陳情第3号	日豪EPAに関する陳情書	採択
陳情第4号	原子力供給国グループ（NSG）での慎重な議論を求める陳情書	継続審査

意見書

次の意見書を可決し、関係行政庁に提出しました。

件名	提出先
1 畜産政策・価格に関する意見書	外務大臣・財務大臣・厚生労働大臣・農林水産大臣
2 日豪EPA交渉に関する意見書	外務大臣・財務大臣・農林水産大臣・経済産業大臣
3 医師・看護師等の増員を求める意見書	内閣総理大臣・総務大臣・財務大臣・文部科学大臣・厚生労働大臣

議会のうごき

- 4月17日 市民福祉委員会現地視察（甕地域）～18日
 22日 第八師団創隊40周年記念式典（熊本県）議長
 26日 原子力発電所対策調査特別委員会現地視察
 （川内原子力保安検査官事務所・川内原子力発電所）
 5月11日 議会運営委員会
 15日 企画経済委員会現地視察（本土地域）
 16日 議会運営委員会
 建設水道委員会現地視察（本土地域）
 17日 総務文教委員会現地視察等（本土地域）
 21日 本議会（臨時会）
 23日 県市議会議長会定期総会（阿久根市）議長
 25日 全国原子力発電所立地市町村議会議長会総会（東京都）議長
 6月1日 議会運営委員会
 産業廃棄物管理型最終処分場対策調査特別委員会
 7日 九州市議会議長会総会（長崎県）議長
 全国原子力発電所所在市町村協議会（東京都）副議長
 12日 本会議
 18日 県市議会議長会臨時総会（東京都）議長
 19日 全国市議会議長会定期総会（東京都）議長
 21日 本会議（一般質問）
 22日 本会議（一般質問）
 25日 本会議（一般質問）
 27日 総務文教委員会・企画経済委員会
 28日 市民福祉委員会・建設水道委員会
 29日 委員会予備日
 7月4日 本会議

※ 日程は変更になる場合があります。間近になりましたら、議会事務局にお問い合わせください。
 （ホームページでもお知らせいたします。）

また、正副議長の日程については、紙面の都合上、一部のみ掲載しています。

本会議は、原則、どなたでも傍聴できます。

傍聴席は市役所4階にありますので、傍聴席入口の申込書に住所・氏名等を記入し、受付箱に入れて傍聴してください。

庁舎2階ロビーや48地区コミュニティセンター等、一部の市の施設でも本会議の映像配信をしています。